第三者保証

当社は、サステナビリティレポート2025に記載の2024年GHG排出量、エネルギー使用量ならびに水使用量に関するデータについて、LRQAリミテッドによる第三者保証を受けています。

LRQA独立保証声明書

キヤノン株式会社のキヤノンサステナビリティレポート 2025 に掲載される 2024 年環境データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいてキヤノン株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

保証業務の条件
LRQA は、キヤノン株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、キヤノンサステナビリティレポート 2025 に掲載される 2024 年（2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日）の環境データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE3000（改訂版）及び温室効果ガス（GHG）については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社とその国内外連結対象子会社おける運営及び活動 に対して、以下の要求事項を対象とする。

- GHG プロトコルに沿って会社の定めた報告手順への適合性の検証
- 以下の環境指標に関するデータ[1]の正確性、信頼性の評価
  - GHG スコープ 1 排出量（トン CO_2e）
  - GHG スコープ 2 排出量（マーケットベース及びロケーションベース）（トン CO_2e）
  - GHG スコープ 3 排出量 カテゴリー1～15（トン CO_2e）
  - エネルギー種毎の使用量
    - 電力（MWh）
    - ガス（km^3）
    - 油（kL）
    - 熱（蒸気、DHC 他）（TJ）
  - 水使用量（m^3）

LRQA の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見
LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 下表 1 に要約される正確で信用できる環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。
この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準[2]、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

[1] GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。
[2] 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

Page 1 of 3

保証手続
LRQA の保証業務は、ISAE3000（改訂版）及び GHG については ISO14064-3:2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の脱漏及び誤表記が無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプリング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2024 年の GHG 排出量、エネルギー使用量、水使用量並びに関連記録を検証した。
- データマネジメントシステムの運用状況を評価する為、キヤノン化成株式会社岩間事業所とキヤノン IT ソリューションズ株式会社西東京事業所を訪問し、データの収集及び記録管理の実施状況の確認を行うと同時に、敷地範囲において排出源の現場確認を実施した。

観察事項
保証業務における観察事項は以下の通りである。
会社は、GHG 排出量、エネルギー消費量、水使用量のデータ管理について、引き続きデータと情報管理における品質管理、品質保証に努めることが望まれる。特に、海外拠点のデータ管理をより正確にすることが期待される。

基準、適格性及び独立性
LRQAはISO14065 “温室効果ガス－認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1 “適合性評価－マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項 – 第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名　　2025 年 3 月 17 日

由岐中 一順
LRQA 主任検証人
LRQA リミテッド
神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1　クイーンズタワーA 10F
TEL: +81 45 682 5290
https://www.lrqa.com/ja-jp/
LRQA reference: YKA4005113

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

Page 2 of 3

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.
This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.
Copyright © LRQA, 2025.

表 1. キヤノングループの 2024 年主要データの要約

対象項目		
スコープ 1 GHG 排出量	197,992	トン CO_2e
スコープ 2 GHG 排出量 [ロケーション基準]	847,121	トン CO_2e
スコープ 2 GHG 排出量 [マーケット基準]	732,929	トン CO_2e
スコープ 3 GHG 排出量	7,172,953	トン CO_2e
カテゴリー1	3,200,909	トン CO_2e
カテゴリー2	732,848	トン CO_2e
カテゴリー3	171,014	トン CO_2e
カテゴリー4	391,050	トン CO_2e
カテゴリー5	24,276	トン CO_2e
カテゴリー6	49,723	トン CO_2e
カテゴリー7	138,142	トン CO_2e
カテゴリー8	0	トン CO_2e
カテゴリー9	52,351	トン CO_2e
カテゴリー10	0	トン CO_2e
カテゴリー11	2,196,011	トン CO_2e
カテゴリー12	174,963	トン CO_2e
カテゴリー13	41,665	トン CO_2e
カテゴリー14	0	トン CO_2e
カテゴリー15	0	トン CO_2e
エネルギー使用量		
電力	1,865,395	MWh
ガス	37,978	km^3
油	24,285,727	kL
熱（蒸気、DHC 他）	408	TJ
水使用量	8,692,968	m^3